

方、
在中
華民
國
傳
播

13.8.1.0 - 1

292

M-0264

0179

懸案移立

第一課

正細局長

次官湯

123.123

公 信 案

外 務 省

了承右ハ当省ニ於テ異存無之此段回答ス
本件ニ関シ未ニ官附人往第一七六一号ヲ以テ御照会ノ趣

件名 支那駐劄帝國公使館附武官輔佐官
命免件

受 信
人名 白川 陸軍大臣

發 信
人名 田中 外務大臣

主 管
人 主 長

任 主

文書課發送

昭和貳年拾月拾日

發送済

淨書

正校(原稿)

郵大

郵大

淨書

郵大

機密 第七一六號

大正昭和貳年拾月拾日

附屬書

通

文書課長

公 信 案

拾貳月拾日
(甲號用紙)

8 13.8.1.0-1

294

10 1

123.123

23

人事課

人往第一七六一號

昭和貳年正月七日 變更

公使館附武官輔佐官命免件照會

昭和貳年正月七日

陸軍大臣 白川 義則

外務大臣 男爵 田中 義一殿

左記ノ通命課詮議中ノ處異存無之哉至急
承知致度

陸軍歩兵少佐 原田 熊吉

補支那駐劄帝國公使館附武官輔佐官

支那駐劄帝國公使館附武官輔佐官 陸軍歩兵中佐 佐々木 到一

免本職

陸

軍

8 13.8.1.0-1

293

123, 123

人事課 藤井

人往第一八六一號

昭和三十二年三月廿六日

公使館附武官輔佐官命免件通牒

外務大臣官房人事課長殿

左記ノ通牒發令セラレタル付通牒ス

進テ原田火佐ハ十二月廿九日神戸出帆、長城丸ヲ出發ノ豫
定、付申出ス

十二月十六日

陸軍歩兵火佐 原田 熊吉

補支那在勤帝國公使館附武官輔佐官

支那在勤帝國公使館附武官輔佐官 陸軍歩兵中佐佐々木到一
免任職

昭和三十二年三月廿七日接受

296

13.2.1.0-1

123, 123

文書課長 藤井

文書課發送

昭和三十一年三月十九日發送済

主 任 主 任 係

管 人事課長

機 普通 第三三八號 大正 昭和三十一年三月十九日 附 屬 書 通

受 信 左支

人 名 芳澤 公使

件 名 左支帝國公使館附武官輔佐官
更迭通知ノ件

名 込 綴

人 名 田中大臣

職ヲ免セラレタル後任トシテ 歩兵少佐 原田熊吉

左支帝國公使館附武官輔佐官ニ 補任セラレタルニ付此段通知ス

公 信 案

外 務 省

295

13.2.1.0-1

2

人事課

人往第一七七號

昭和參年貳月廿壹日 接

公使館附武官命免件照會

昭和參年貳月廿壹日

陸軍大臣白川義則

外務大臣男爵田中義一殿

首題、件左記、通詮議中、處果存無之哉至
急承知致度

左記

支那在勤帝國公使館附武官陸軍中將本庄 繁

免本職

陸軍少將建川 美次

補支那在勤帝國公使館附武官

本庄中將、
二月二十九日、
免本職、
三月八日、
支那在勤帝國公使館附武官、
建川美次、
補任、

陸軍

人事課

海軍入第 四五 號

昭和三年二月廿二日接受

昭和三年二月二十日

海軍大臣岡田啓介

外務大臣男爵田中義一殿

支那在勤帝國公使館附武官輔佐官更迭ノ件

職務上ノ都合ニ依リ首題ノ件左記ノ通
命免方取計度候處貴省ニ於テ御差支
有無至急承知致度
右照會ス

記

免 海軍少佐 中原 三郎

命 海軍大尉 藤原喜代間

(終)

128/123

文書課長 次官 第1課

文書課發送 昭和三年四月四日發送済

主 人事課長 任主 係 (起草昭和三年二月二十五日杉立)

受 信 人名 田中 海軍大臣

件 名 東件ニ関シ二月二十二日附海秘人オ四五号ヲ以テ
此照会ノ趣ヲ承知イテ省ニ於テ差支無ク之ヲ以テ
回答申進ス

公 信 案

外 務 省

8 13.2.1.0-1 301 24 40

129/123

文書課長 次官 第1課

文書課發送 昭和三年四月四日發送済

主 人事課長 任主 係 (起草昭和三年二月二十五日杉立)

受 信 人名 白川 陸軍大臣

件 名 東件ニ関シ二月二十二日附人往中一七七号ヲ以テ此
照会ノ趣ヲ承知イテ省ニ於テ差支無ク之ヲ以テ
回答申進ス

公 信 案

外 務 省

8 13.2.1.0-1 300 23 18

M-0264

0185

123.123 28

公文書	文書課長	文書課發送	昭和參年參月五日	發送済	淨書	校(原稿)	淨書
主	人事課長	任主	無	(起草) 昭和參年參月五日	三月二日	(甲號用紙)	38
受	在支那	芳澤公使宛	田中外務大臣	附屬書	通		
件	本任中將本職免	名込綴					
二月二十九日付ノ貴館附武官 本任中將本職ヲ免							
貴館附武官 相成ル							

6 13.2.1.0-1 303

123.123 29

公文書	文書課長	文書課發送	昭和參年參月五日	發送済	淨書	校(原稿)	淨書
主	人事課長	任主	無	(起草) 昭和參年參月五日	三月二日	(甲號用紙)	39
受	在支那	芳澤公使宛	田中外務大臣	附屬書	通		
件	海軍武官輔佐官更迭	名込綴					
三月一日付ノ海軍大尉 原素代間 貴館附武官輔							
佐官補 中原少佐 本職ヲ免 貴館附武官							
相成ル							

6 13.2.1.0-1 302 3 39

M-0264

0187

0188

寫送先

大臣 次官
電信課長 澤田
會文 人 文 情 條 通 歐 亞
計書 事 化 報 約 商 米 細 亞

昭和3 五四三七 暗 北京 十一日後發 人
本省 五月十一日後着
田中外務大臣 芳澤公使
第六一三號
往電第五一六號ニ關シ
館務激増手不足ニ付濟南ニ館員補充ノ上有久ヲ歸任セシムルカ若
ハ臨時同人ノ代理ヲ當館ニ派遣セラレタク何分ノ儀至急御回電ヲ
請フ
濟南へ轉電セリ

外務省

8 13.8.1.0 - 1 306

人事課

人往第三五一號
公使館附武官輔佐官命免件照會
昭和四年四月四日 接受
外務大臣男爵田中義一殿
左記通り命課換ノ件詮議中、處異存無
之式並急承知致度
左記
陸軍歩兵少佐 井上 靖
補吏那在勤帝國公使館附武官輔佐官
免本職
泰那在勤帝國公使館附武官輔佐官 田中 義一
陸軍歩兵少佐 廣田 熊吉

昭和四年四月四日 接受

8 13.8.1.0 - 1 307

M-0264

0189

123.123

文書課長 松宮

文書課發送 昭和四年四月拾五日發送済

主 任 主 任 (起草昭和四年四月拾五日)

件名 在支那帝國公使館附武友輔佐友更失通知一件

受信 在支 堀臨時代理公使

發信 田中大臣

名 込 綴

本件十二日附テ貴館附武友輔佐友原田少佐
 本職ヲ免セシテ、後任トシテ歩兵佐井上清
 貴館附武友輔佐友ニ補任セシルニ付

公 信 案

外 務 省

6 13.2.1.0 - 1 309 13 79

123.123

文書課長 松宮

文書課發送 昭和四年四月八日發送済

主 任 主 任 (起草昭和四年四月八日)

件名 在支那帝國公使館附武友輔佐友命免一件

受信 白川陸軍大臣

發信 田中外務大臣

名 込 綴

本件ニ對シ四月二日附人往第三五一号ヲ以テ
 此照会ノ趣ヲ承知ハ当省ニ於テ異存無之ヲ以
 段回答ス

公 信 案

外 務 省

6 13.2.1.0 - 1 308

M-0264

0190

123,123

人事課

人往第四一四號

昭利四年四月拾六日

公使館附武官輔佐官命免件通牒

外務大臣官房人事課長殿

左記ノ通り業發令セラレタル付通牒ス

追々井上少佐ハ目下支那へ出張中ノモ付申添テ

四月十二日

陸軍歩兵少佐 井上 靖

補支那在勤帝國公使館附武官輔佐官

支那在勤帝國公使館附武官輔佐官

陸軍歩兵少佐 原田 熊吉

免本職

昭利四年四月拾七日 接受

3.2

13.2.1.0 - 1 311

以段通知ス

外務省

昭利四年四月拾七日 接受

3.2

13.2.1.0 - 1 310

(原議用紙乙)ナ

6 13.8.1.0 - 1 313

B. 13.8.10 - 1

312

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

外務省

リ止ムヲ得ルモノヲ取違ヘ置キタルニ付右
支那側ニ屈出方^尋成然律在行相降度
北平上樹壽夫ニ轉手セリ

(原議用紙乙)ナ

8 13.2.1.0 - 1

315

501. B1112

9244

4 9 3 15 30

電
信
案

外務省

今般隱年側ヨリ差地駐在員重藤中佐ヲ
公使館附試ニ輔佐位トシ支那側ニ座出
度旨申出アリタシモ、（全友安、陳ノ地位）左ノ陸軍側由都圍集
ト要ル次第ナシモ支那ノ實際的現状ノ儘ヲ限

8 13.2.1.0 - 1

314

次
館

主 管

2014年12月



任主

(起首)

圖

少年

八

月

(日)

(8)

電信課長

電
信
案

外子(2) 謹啓

(原議用紙甲)

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

0193

506. B1112

外
務
省

6 13.2.10 - 1

317

華商書局

SECRET

(赤神紙)

承 12
紅 12
紅 12
紅 12
紅 12
紅 12
紅 12
紅 12



501B1112

9245-11

4931580

電
信
案

外務省

B. 13.2.1.0 - 1

316

本行有前報元電報力一三六号

件 公使館附設武庫輔佐官ノ件 名 込 額	宛 在北平 据内代理公使 在尋夫 林總領事 在上海 重光 陰佐官 暗 合 第 五二八 號 發 昭和五年六月
--	--

主 宣

張國燾

任主

(起草)

一九三九年九月五日

電信課長

電 信 案

(原議用紙甲) 鹿納

319

外
務
省

ノト認メ

イ、新補佐官本人ニ於テ本件實施カ變則ナルコトヲ了解シ問題等

ヲ生セサル様注意スヘキコト

ロ、補佐官ヲ三名トスルカ如キハ元來變則ナルモノニ付現下ノ如

キ支那ノ事態終了スレハ元ノ二名ニ立歸ルコト

ヲ條件トシテ九月三日右ニ同意ヲ與ヘ置キタリ

318

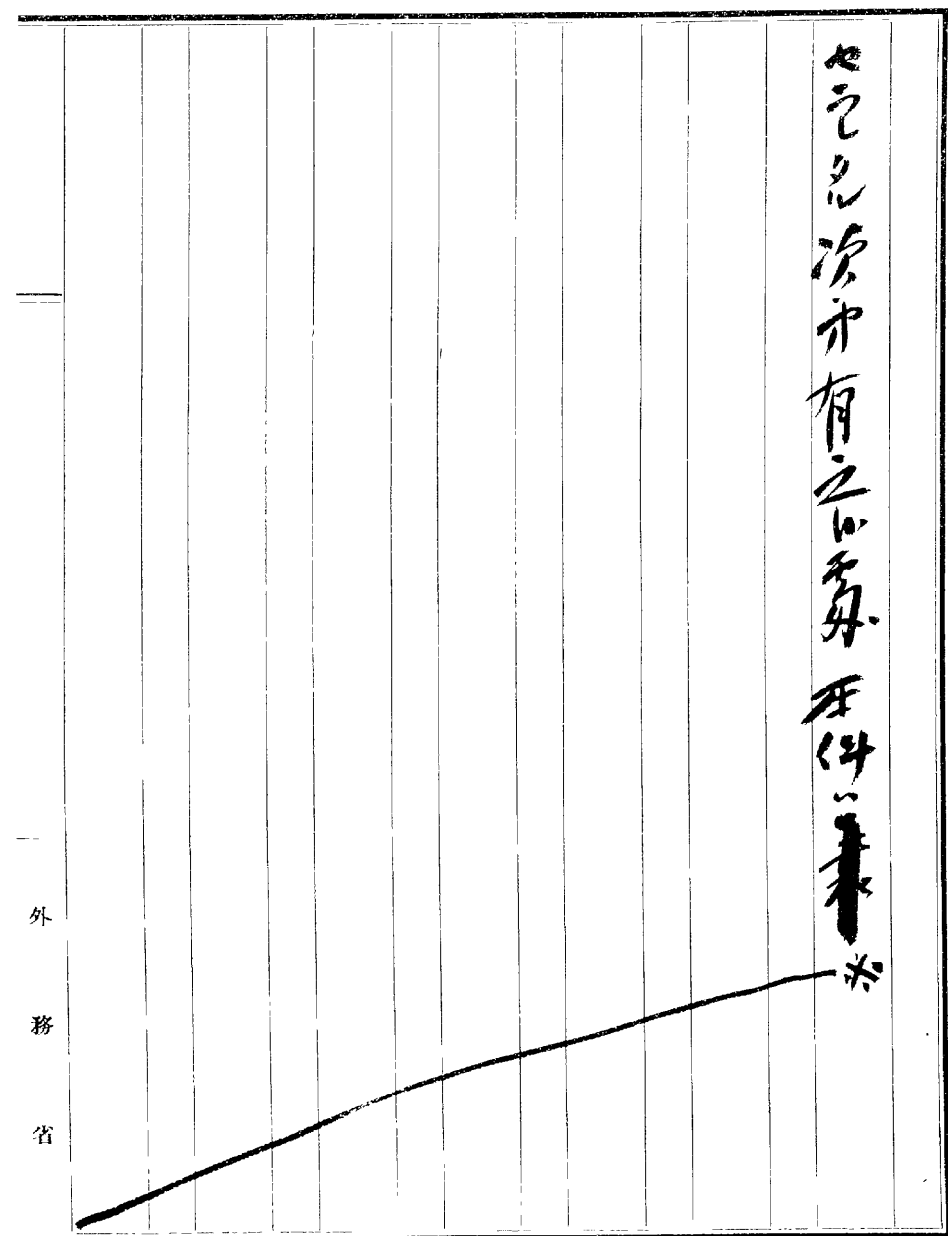
5/2

在支帝國公使館附陸軍武官輔佐官數ハ二名即チ本來輔佐官トシテ任
命セラレタルモノ一名ノ外實際ノ便宜上駐在武官一名ヲ同級輔佐官
トシテ支那側ニ通告シテアリタル次第ナルカ今般陸軍武官事務所上海
ニ移轉ニ際シ右輔佐官ヲ三名ニ増員シ即チ前記輔佐官ノ内一名ヲ北
平ニ殘シ一名ヲ上海ニ移ス外新ニ現上海駐在武官重疊中佐南京ニ移
駐シ輔佐官トスルノ必要ヲ認ムルニ付右増員ニ同意ノ上支那側ニ通
告方取計ヲ得度旨申出

省ニ於テハ諸般ノ事情ヲ考慮ノ上支那現下ノ實情酌量
ニ照シ此種便宜ノ便法モ臨時的ニ之ヲ實施スルコト已ムヲ得サルモ

外務省

4.5
B 13.2.1.0 - 1 321



B 13.2.1.0 - 1 320

M-0264

0195

教具

有乙小桑在津弟江華身連通報申進候

乙號用紙

外務省

8 13.2.1.0 - 1

323

卜德人

新輔佐長本々之不干案件實施力盡則尤コトヲ

子解の同侯尋う其花様注意スキ下

輔佐長ヲ三君トスル如キハ元来変則ナシニ付

現下如平立那會變了五元一名、立歸

此下

ヲ案件トシテ九月六日之ニ同意ヲ与ヘ直キタルモノニ

外務省

3.3

8 13.2.1.0 - 1

322

(原議用紙乙)ナ

拜啓 閣下先般陸軍部申出ニ基キ重藤中佐ヲ在支公使館附陸軍武官輔佐官トシテ支那領ニ届出方幣原大臣ヨリ南京宛ニ(實官) 訓令セラレタル次第有之候處本件ハ本月二日參謀本部田代部長谷田細田局長第一課長ヲ來訪從來在支帝國公使館附陸軍武官輔佐官數ハ二名即チ本來輔佐官トシテ任命セラレタルモノ一名ノ外實際ノ便宜上駐在武官一名ヲ同様輔佐官トシテ支那領ニ通告シアリタル次第ナルカ今般陸軍武官事務所上海ニ移轉ニ際シ右輔佐官ヲ三名ニ増員シ即チ前駐輔佐官ノ内一名ヲ北平ニ殘シ一名ヲ上海ニ移ス外新ニ現上海駐在武官重藤中佐ヲ南京ニ移駐シ輔佐官トスルノ必要ヲ認ムルニ付右増員ニ同意ノ上支那領ニ通告方取計ヲ得度旨申出タルヲ以テ本書ニ於テハ附

寫

外務省

4.5
B 13.2.1.0 - 1 324

般ノ事情ヲ考慮ノ上支那現下ノ變則的事態ニ照シ此種權宜ノ便法ニ臨時のニ之ヲ實施スルコト已ムヲ得サルモノト認メ
イ、新輔佐官本人ニ於テ本件實施カ變則ナルコトヲ了解シ問題等ヲ生セサル様注意スヘキコト
ロ、輔佐官ヲ三名トスルカ如キハ元來變則ナルモノニ付現下ノ細キ支那ノ事態終了スレハ元ノ二名ニ立歸ルコト
ヲ條件トシテ九月三日之ニ同意ヲ與ヘ置キタルモノニ有之候條右ニ御合置相成度此段通報申進候 敬具
昭和四年九月十六日

有田外務省亞細亞局長

外務省

4.5
B 13.2.1.0 - 1 325

M-0264

極秘

2.10.183

前略重藤駐在武官ノコトニ關シテハ過日書面ヲ以テ一應貴聞ニ達
シ置キタルカ今回計ラスモ再ヒ同中佐ニ關シ左ノ事實アリ右御報
申上候
六日公使ニ隨伴シテ南京ニ參リタル處上村領事ヨリ同日朝王正廷
ハ江華本（亞洲司代理）ヲ王ノ代理トシテ同領事ノ許ニ遣シ國書
捧呈式日本側隨員中ニハ重藤中佐ノ名アル處同中佐ニ對シ反感ヲ
有スル向アル次第ハ嚮ニ王部長ヨリ重光總領事ニ内話シ置キタル
カ斯カル重要ナル儀式ニ同中佐ヲ參列セシムル事ハ面白カラサル
ニ付同中佐ノ國書捧呈式參列ハ此ノ際見合セラレ度尙七日夜ノ王
部長ノ招宴ニモ同中佐ハ招待致シ度ナキ意向ナルヲ以テ右王部長
ノ意向ヲ貴領事ヨリ然ルヘク佐分利公使ニ傳達アリ度公使ノ意向

録件
佐分利
外務省
183
10月

BII

8 13.2.10-1 327

在支 堀内臨時公使
在奉天 林總領事
在上海 重光總領事
在南京 總領事

(本報紙)

外務省

8 13.2.10-1 326

M-0264

0199

ハ同夜再ヒ來訪御伺ヒスヘキ旨申シ出テタル旨ノ内話アリタルニ依リ小生ハ佐分利公使トモ相談ノ上同日夕江華本來館ノ際ハ小生ヨリ江ニ對シ王部長カ嚮ニ自分ニ述ヘタル處ハ自分モ良ク承知シ居ル次第ナルカ國書捧呈式カ明日ト迫リ居ル此ノ際公使館員タル重藤補佐官ヲ隨員中ヨリ除クカ如キハ不穩當ナルヲ以テ明日ノ儀式及王部長ノ招宴ニハ豫定通り公使館員トシテ待遇セラレ度右王部長ニ十分徹底スル様傳達アリ度旨說示シ置キタルカ江ハ同夜更ニ王正廷ト相談ノ上來訪シ部長ニ於テハ貴官ノ意ノ在ル處ヲ十分諒トシ明日ノ儀式及宴會ニハ重藤補佐官ヲ公使館員トシテ待遇スル事ニ同意セラレタルカ同時ニ同中佐ノ不評判ノ點ハ十分考慮セラレ度要求スル譯ニハ非サルカ斯ル狀態ニテ同中佐ニ於テモ當地

BII

6 13.2.10-1 328

ニ留ルモ其ノ職務遂行上ニ於テ不便アルヘク同中佐トシテモ面白カラサルヘキ旨申出タリ然ルニ七日朝王正廷ノ宴會ニ對スル招待狀一括到着セルニ重藤及藤原兩補佐官ノ分缺ケ居タルニ付王カ重藤ノミヲ除外スルトキハ再ヒ問題ヲ起スヘシト思考シ藤原大尉ヲ道伴トシタルモノニハ非サルカトモ思ハレタルニ依リ上村ヲ江華本ノ許ニ遣シ昨夜ノ話合ニ於テハ七日ノ儀式及宴會ニハ重藤補佐官ニ對シ何等差別的待遇ヲ爲ササルコトニナリ居ル次第ヲ今一應（リマインド）セシメ依ツテ兩補佐官ヲ招宴セサルハ何等貴方ノ手落ニハアラサルヤト輕ク質問セシメタルニ江ハ自分ハ多分座席手狹ノ爲已ムヲ得ス兩人ヲ削除シタルモノト思ハルルモ尙一應王部長ト相談スヘシト述ヘタルカ後刻江ヨリ上村ニ對シ電話ニテ

BII

6 13.2.10-1 329

其ノ後取調ヘタル處ニ依レハ兩補佐官ニ對スル招待狀ハ別ニ送付
シタル旨回答シ越シタリ
右招宴ノ件ハ是レヲ善意ニ解スレハ或ハ右兩官カ公使ニ隨行シ來
レルニアラスシテ南京ニ在住シ居ル關係上特ニ別ニ送付シタル
モノナルヤ計リ難キモ何レニスルモ斯ル狀態ニテハ早晚再ヒ不快
ナル問題ノ惹起スルコトアルヤモ知レスト憂慮セラレタルヲ以テ
右ノ次第ハ小生ヨリ詳細佐藤少將ニ内話シ置タルカ佐藤少將ニ於
テハコレヲ感謝シ重藤ハ既ニ當方面ノ在勤モ久シク他ニヨリ良キ
活動舞臺モアルコトナレハ適當ノ機會ニ轉勤セシムル様參謀本部
ノ二宮總務部長アタリニ私信ヲ以テ申シ送ルヘシト述ヘ居タリ
右貴臺ノ御參考迄御内聞ニ達シ置ク次第ニ有之候 敬具

BII

8 13.2.1.0 - 1 330

有田亞細亞局長殿

昭和四年十月八日

希光 奏

BII

8 13.2.1.0 - 1 331

人事課

官房密第一〇一八號

昭和四年九月二十六日

海軍次官 山梨勝之

外務次官 吉田茂殿

空軍局長

記

杉坂在支公使館附武官へ訓令ノ件通牒
首題ノ件ニ關シ左記通訓電相成候

官房機密第一三七番電報

昭和四年九月二十六日

午後〇時三十分發電濟

海軍大臣

杉坂在支武官宛

貴官ハ十月上旬佐分利公使ト合同スル如ク便宜上海ニ到リ同公使ニ

123, 12
佐分利公使
寫後ハ送付

昭和四年九月廿五日接受

24

25



6 13.2.1.0-1 332

海軍

隨行シテ南京ニ於ケル御信任狀提出ノ儀禮ニ參加シ終テ任地ニ歸投
スベシ

佐分利公使ノ行動ニ關シテハ北平公使館ニ就キ承知スル儀ト心得ベ
シ

本件電報先

第一、第二遣外艦隊司令官
馬公要港部司令官

(終)

6 13.2.1.0-1 333

外三國使節

(秘)

昭和四年
電報

十月十二日
十月一日
在支那公使館附武官

陸軍次官宛
支那第三

小官新公使ニ隨行シ六日發南京ニ
到リ國書捧呈及國慶日式典ニ參
列本十一日歸滬(上海)ニタルカ新
公使ニ對スル支那人ノ態度ハ從來ニ
比シ好感ヲ以テ接觸シ應酬ニ努カ
メタルハ喜フヘキ現象ナリ然レトモ我
軍人殊ニ陸軍ニ對シテハ依然差別
待遇ヲ敢テシ濟南事件ノ疑今尚

解テサルハ遺憾ナリ將來之カ緩和
於テモ大ナル努力ヲ拂フ可キモ從來
ノ如ク良好ナル關係ニ還元スル迄ニ
ハ相當ノ時日ヲ要スルナリ
十日ノ觀兵式ニ參列セル軍隊ハ第
五師ノ大部及軍官學校學生ニシ
テ合計約六千ナリ
各學生ハ本年十二月ノ卒業生ニシ
テ蔣介石ハ大ニ之カ教育ニ努力
シタルニ拘ラス一般ニ活氣ヲ分
列式ノ成績ハ第五師ニ比シ遙カニ
不良ナリ
又蔣介石ハ極メテ得意ノ場面ナ

123/23

亞細亞局
課長

26

官房第四〇號

昭和五年二月七日

三浦

外務次官 吉田 茂殿
海軍次官 山梨 勝之進

在支公使館附武官ノ勤務地變更ニ關スル件通牒
在支公使館附海軍武官ノ勤務地ヲ當分ノ間北平ヨリ上海ニ移シ北平ニ
ハ同輔佐官ノミヲ勤務セシムルコトニ致候

(終)

B 13.8.1.0-1

339

123/23

21

文書課長

公 信 案

文書課發送 昭和四年三月拾貳日發送済

主 任 主 任
人事課長

人 普 通 第 一 九 號

大 正 昭和四年三月拾貳日 附

附 屬 書 通

受 信 在 支

人 名 堀内 臨時代理公使

發 信 幣 原 大 臣

件 名 在支帝國公使館附武官補佐
右更迭ノ件

名 込 綴

本月十日附ヲ以テ貴館附武官補佐右井上幸三
少佐 左職ヲ免セシ 幸三少佐 鈴木貞一
左ノ後任ニ補セラルルニ付此般通知ス

公 信 案

外 務 省

B 13.8.1.0-1

338

11 107

人事課

三十七號

昭和五年貳月 拾日 接受

昭和五年二月十日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣濱口雄幸

外務大臣男爵幣原喜重郎殿



支那在勤帝國公使館附武官輔佐官更迭之關
スル件照會

職務上、都合有之候、付首題ノ件左記交代方
取計度候處貴省ニ於テ御差支ノ有無至急義
知致度

記

支那在勤帝國公使館附武官輔佐官

命
免
海軍中佐 富田貴一
海軍少佐 藤原喜代間

(終)

人事課長

4612.32711
561.13112

昭和五年二月十日

外務省亞細亞局長殿

南京駐在武官ヲ在支外交副名簿ニ登録ノ件照會

南京駐在武官海軍大佐菅沼忍人ハ主トシテ情報蒐集ノ任務ニ從事シアル處駐在地ガ國民政府所在地タル關係上往々ニシテ公使館附武官ニ代リテ各種折衝ヲ爲スノ要アルニツキ同官ヲ在支外交副名簿ニ登録方御取計ヲ得度

海軍省軍務局長

昭和五年二月十日

軍務機密第六四號

三浦

昭和五年二月十五日接受

海軍省

343

13.8.1.0-1

文書課長

公文書

文書課發給昭和五年貳月拾四日發送済

主 任 主 任

管 人 任 主 任

機 密 第 一 五 號

昭 和 五 年 二 月 十 日 附

附 屬 書 通

受 信 人 名

臨時海軍大臣ヲ事務管理
送付内閣總理大臣

發 信 人 名

幣原大臣

件 名

支那駐在武官公使館附武官
輔佐官更迭ニ關スル件

名 込 綴

本件ニ關シ二月十日附海軍人申三七号ヲ
以テ照會ノ趣ヲ承知、當省ニ於テ異議
ナシ以テ段回答ス

外 務 省

342

13.8.1.0-1

M-0264

0207

23
1231/23

文書課長

普通第一四號

昭和五年貳月拾八日發送

綴込名

受信人 在上海

重光代理公使

受信人

幣原大臣

昭和

五年

二月十七日附

第二五號

在上海東京事務所發信

在上海帝國公使館附設右勤務地變更ニ關スル件寫

澄原

淨書

校正

澄原

8 13.2.1.0 - 1

347

41

付取下ノ如キヲ無終了ノ上ニ帝則ニ據スハキハ勿論ノ故ニ有之又因テ
二佛リ新浦佐有本人ニ於テ右ヲ
知ヲ解ニ成題事ヲ生セサル様
アリ度申ス迄モ之ヲ成ナラ
意ヤリル様附有念申條ニ

(原議用紙乙)

外務省

8 13.2.1.0 - 1

346

M-0264

0209

25

123, 123

文書課長 斎藤

文書課發送 昭和五年貳月拾八日發送濟

主 任 人事課長 任 主 任 係 (起草昭和五年二月十四日)

普通 第一五 號 昭和五年貳月拾七日 附 屬 書 通

受信 左 丑平

人名 大橋三平 書記長

件名 左 丑平 帝國公使館附武官 勤務地變更ニ係ル件

今般海軍少将ヨリ左 丑平 帝國公使館附海軍 武官ノ勤務地ヲ當分ノ旨丑平ヨリ上海ニ移シ

丑平ニハ同輔佐官ノミヲ勤務セシムルコト、相

公 信 案

外 務 省

3.2

13.8.1.0 - 1 349 17 41

24

123, 123

文書課長 3

普通 第一五 號 昭和五年貳月拾八日發送濟

主 任 人事課長 任 主 任 係 (起草昭和五年二月十四日)

普通 第一五 號 昭和五年貳月拾七日 附 屬 書 通

受信 左 丑平

人名 大橋三平 書記長

件名 左 丑平 帝國公使館附武官 勤務地變更ニ係ル件

今般海軍少将ヨリ左 丑平 帝國公使館附海軍 武官ノ勤務地ヲ當分ノ旨丑平ヨリ上海ニ移シ

丑平ニハ同輔佐官ノミヲ勤務セシムルコト、相

公 信 案

外 務 省

3.2

13.8.1.0 - 1 348 17 42

27

123/23

公文書課 長 斎藤

文書課 發送

昭和五年貳月拾八日發送済

主 任 主 任 集 (起草昭和五年二月十四日)

普通 第二 二 五 昭和昭和五年貳月拾七日附 附屬書 通

受 信 在 世 平

人 名 大塚 三郎 氏

件 名 在 世 平 帝國公使館附武友 輔佐友更送通知件

名 込 綴

發 信 人 名 幣 原 大 臣

本 月 十 日 附 以 下 前 原 海 軍 少 佐 貴 館 附 武 友 輔 佐 友 更 送 通 知 件 同 日 海 軍 中 佐 富 田 貴 一 氏 平 公 使 館 附 武 友 二 補

公文書 案

外 務 省

3.2

13.2.10-1 351 17 43

成リタル通牒有之タルニ付以段申進ス

在 世 平 送 付 先 在 上 海 重 光 代 理 公 使

外 務 省

3.2

13.2.10-1 350

112.10.12

第一番電
本日ヨリ上海ニ於テ執務ス

次官

馬要司令官 宇治艦長 水戰司令官
久保田 富田 二連司令官 酒井
佐鎮長官 須賀 菅沼

在上海北岡武官

五三一四

一六〇〇
一九三〇

無線

北

平

着

(500)

十四日

13.8.1.0-1

353

任セタルニ付以段通知ス

本信ヲ送付先 在上海重光代理公使

(乙 號用紙) 園納

外務省

13.8.1.0-1

352

M-0264

0212

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍人第一八八號

昭和五年八月二十一日

外務大臣男爵幣原喜重郎殿
海軍大臣 財部 彪

支那在勤帝國公使館附武官
輔佐官更迭ニ関スル件照會

職務上ノ都合有之候ニ付首題ノ件左記交代方取
計度候屬貴省ニ於テ御差支ノ有無至急彙
知致度

記

免 海軍中佐 富田 貴一
命 同 酒井 武雄

海 軍

(終)

昭和五年八月廿二日 接受

S 13.8.1.0 - 1 355

S 13.8.1.0 - 1 354

M-0264

0213

送付

文書課長		公信案		外務省	
文書課發送		昭和五年九月八日		發送済	
主 任		人事課長		係	
普通第		八		號	
受 信		在上海		重光代理公使	
作 名		在上海帝國公使館附武官		輔佐官更迭一件	
發 信		滯京大臣		名 込 綴	
附 屬 書		昭和五年九月八日		日 附	
正校(原稿)		淨書		(原議用紙甲)	
6		76			

在上海帝國公使館附武官輔佐官更迭通知
送付ノート

6 13.2.1.0-1 359

文書課長		公信案		外務省	
文書課發送		昭和五年九月八日		發送済	
主 任		人事課長		係	
普通第		八		號	
受 信		在上海		重光代理公使	
作 名		在上海帝國公使館附武官		輔佐官更迭一件	
發 信		滯京大臣		名 込 綴	
附 屬 書		昭和五年九月八日		日 附	
正校(原稿)		淨書		(原議用紙甲)	
6		76			

在上海帝國公使館附武官輔佐官更迭通知
送付ノート

6 13.2.1.0-1 358

M-0264

0215

人事課

入往第九〇七號

公使館附武官輔佐官命免件照會

昭和五年三月廿六日

陸軍大臣宇垣一成

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

首題ノ件左記ノ通詮議中ノ處具存無之哉至
急承知致度

左記

陸軍歩兵少佐永津佐比重

補中華民國在勤帝國公使館附武官輔佐官

中華民國在勤帝國公使館附武官輔佐官

陸軍歩兵中佐鈴木貞一

陸軍

免本職

偶

昭和五年三月廿七日接受

偶

昭和五年三月廿七日接受

公使館附武官輔佐官命免件照會

陸軍大臣宇垣一成

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

題件左記、通詮議中ノ處異存無之哉至
承知致度

左記

陸軍步兵少佐永津佐比重

中華民國在勤帝國公使館附武官輔佐官

中華民國在勤帝國公使館附武官輔佐官

陸軍步兵中佐鈴木貞一

陸軍

本職

S 13.2.10-1 361

命課及令ノ關係上來一月六日迄
回答方相煩度

右伝送付先、在米平公使館重光代親公使

乙
號
④

外
務
省

6 13.8.10 - 1 364

M-0264

0219

人事課
人往第四壹號

係

昭和六年六月拾七

大使館附武官命免ノ件通牒
昭和六年六月拾七日
陸軍省人事局補任課長岡村寧次

外務大臣官房人事課長殿

左記ノ通發令セシム付通牒ス
追テ川侯大尉ハ六月二十日東京出發、鮮滿、甘肅聯邦
經由赴任ノ豫定、笠井大佐井出中佐出發ハ未定、
付後日通牒ス

六月十一日

陸軍騎兵大佐 笠井 平十郎
補佛國在勤帝國大使館附武官

陸軍輜重兵中佐 井出 鐵藏
補印度駐劄武官

陸軍歩兵大尉 川 侯 雄 人
補ラトヴィア國在勤帝國公使館附武官

佛國在勤帝國大使館附武官
陸軍少將 中岡 彌 高

亞爾及丁國在勤帝國公使館附武官
陸軍砲兵中佐 下野 一 霍

印度駐劄武官
陸軍歩兵大佐 丸山 政 男

免本職

8 13.2.1.0 - 1 366 8 13.2.1.0 - 1 365



次官

亞細亞局長

第一課

歐米局長

第二課

文書課長 栗原

公
信
案

(甲號用紙)

文書課發送

昭和六年七月拾七日發送濟

淨書

正核
(原稿)

(淨書)

主 管
人事課長

任主
編

(起草) 昭和九年七月十六日

(H)

人
普通 精英
第

號

大正

昭和六年七月拾七日附

附屬書

通

南陸軍大臣

發信人
姓名
韓秉文

件名 糸糸五公便 附

緞花外信船附武元任色園圖

本月十五日附人往某四七一號予以印照人雷

一、類了、錄右八、當南、
二、於子、累存、無之、秋

新日管人

公
信
案

外務省

17 58

13.2.1.0 - 1

3687 42

免急職

免本職兼職

波蘭國在勤帝國公使館附武官

兼ラトウィア國在勤帝國公使館附武官

陸軍歩兵少佐 秦彦三郎

埃國在勤帝國公使館附武官
 兼洪國在勤帝國公使館附武官

陸軍步兵大佐 高橋 勘二

13.2.1.0 - 1 367

M-0264

0221

國立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

人事課
人往第四七一號

公使館附武官命免ノ件照會

昭和六年七月十五日

陸軍大臣

南

次

外務大臣 男爵幣原喜重郎 殿



首題ノ件左記ノ通命課ノ詮議中ニ候處異存無之候哉至急回答相煩
度候也

左記

中華民國在勤帝國公使館附武官

陸軍少將

佐藤

三郎

免本職

陸軍

陸軍少將

田代皖一郎

補中華民國在勤帝國公使館附武官

✓陸軍騎兵少佐

栗林

忠道

補力ナダ在勤帝國公使館附武官

S 13.8.1.0 - 1 370

S 13.8.1.0 - 1 369

外
務
省

面
知
人

此信送付先、重光臨時代理公使並英界各事安

B 13.8.1.0 - 1 372

外務省

分類 M2.1.0.12

完一郎 貴殿武女補任也今存其好

長隊ヲ免セシ其ノ後任トシテ陸軍少將田代

本月 日附子以子費改附武友佐藤少將

在中華革命軍臨時政府
更迭一件

綴 王外之破陣武官佐々
込 名 藤原隆平

受信 人名 在北 重光代理公使 矢野参事 友 托

發售
人名
智多犬匠

人 普通 命 九 號 大正

昭和六年八月四日 附

附風書通

管主
人事課長

任主
何

(起草 昭和六年八月二日)

文書課發送

發送濟

淨書

正校
(原稿)

文書課長

公
信
案

13.8.1.0 - 1 371

4 42

分 12.10.12

人事課 人往第五四五號									
公使館附武官命免、件通牒 昭和六年八月拾日 陸軍省人事局補任課長岡村寧次									
外務大臣官房人事課長殿									
首題、件左記ノ通り勅令セラレタルニ付及 通牒セヨ									
追而田代少将ハ八月二十六日長崎出帆ノ長崎丸、 栗林少佐ハ九月十日横濱出帆ノ秋文丸ニシテ赴任 ノ予定ニ付申添フ									
八月一日勅令									
陸軍少将 田代 皖一郎									
補中華民國在勤帝國公使館附武官									
陸軍少将 栗林 忠道									
補力ナク在勤帝國公使館附武官									
中華民國在勤帝國公使館附武官									
陸軍少将 佐藤 三郎									
免本職									

在外公館附武官任免同修規

昭和六年八月拾五日發受



公第二六九號

昭和六年九月三日

在中華民國

特命全權公使 重光

在南京

三等書記官 上村 伸一 殿

公使館附陸軍武官更迭通知ノ件

本件ニ關スル外交部宛書翰別添送付スルニ付轉交方可然御取計相成度シ

本信寫送付先 外務大臣 北平

別紙添付

8 13.8.1.0 - 1 376

(分類 112.1.0.12)

公第三六五號

昭和六年九月三日

在中華民國

特命全權公使 重光

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

昭和六年九月三日附南京上村書記官宛公領第二六九號信寫送付

公使館附陸軍武官更迭通知ノ件

別紙添付

8 13.8.1.0 - 1 375

M-0264

0225

人事課

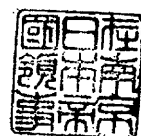
第

普通送 第六七八號

昭和六年九月十二日

在南京

領事 上村 伸



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

昭和六年九月十二日附普通公第五二四號 重光公使宛公信寫送付

件 名

一、公使館附陸軍武官更迭通知ノ件

在南京日本領事館

S 13.8.1.0 - 1

378

外第五七號

拜啓。陳者。當公使館附陸軍武官陸軍少將佐藤三郎今因歸朝ヲ命セ
ラレ後任トシテ陸軍少將田代鏡一郎八月二十八日着任致候。右御通
知申進旁得貴意候。敬具。

昭和六年九月一日

日本帝國公使館

國民政府 外交部 御中

在華日本公使館

S 13.8.1.0 - 1

377

寫送先

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣

電信課長

昭和7 三〇六三 暗 南京 五日後發
本省 二月七日後着 亞
芳澤外務大臣
第一一八號（極秘扱）
本官發在支公使宛電報
第一一三號
當地駐在菅沼海軍武官ハ突如漢口出張ヲ命セラレ本五日上海ヨリ上
航ノ浦風ニテ赴漢スルコトトナリ當地ニハ駐在武官ナキニ至レル處
菅沼武官ハ當地ノ事情ニ精通シ本官ト我海軍側トノ聯絡ニモ能ク努
メ今日迄萬事好都合ニ運ヒ來レルニ鑑ミ同武官ハ當地ニハ缺クヘカ
ラサル次第二付漢口駐在武官ハ別ニ之ヲ選定シ菅沼武官ハ出來ルタ

外務省

13.8.1.0 - 1

380

寫

普通公第五二四號

昭和六年九月十二日

在南京

領事

上

村伸一

在中華民國

特命全權公使

重光

葵

殷

公使館附陸軍武官更迭通知ノ件

本月三日附公第二六九號貴信ヲ以テ御送付ニ係ル本件外交部宛書翰
ハ本月五日同部ニ轉達シ置タルニ付右様御了知相成度

本信寫送付先

大臣 北平

在南京日本領事館

13.8.1.0 - 1

379

M-0264

0227

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

ケ速ニ歸京セシムル様海軍側ト御協議ヲ請フ
大臣ニ轉電セリ

外務省

13.8.1.0 - 1

381

人事課

昭和七年 貳月 陸軍省 接収

陸普第七六四號

中華民國在勤帝國公使館附武官代理件
通牒

昭和七年貳月九日

陸軍次官 杉山 元
外務次官 永井松三殿

中華民國在勤帝國公使館附武官田代皖一郎ハ今般
本職ヲ免セラルルニ就テハ當分其ノ後任ヲ置カ
レス陸軍歩兵中佐原田熊吉ニ同武官ノ職務代
理ヲ命セラルヘキニ付承知相成度

陸軍

13.8.1.0 - 1

382

M-0264

0228

人事課

人往第九五號

昭和七年
一月拾貳日
陸軍省

公使館附武官被免ノ件通牒

昭和七年二月十二日 陸軍大臣 荒木 貞夫

外務大臣 芳澤 謙吉 殿

中華民國在勸告國公使館附武官陸軍少將田代曉一郎今因ノ事變ニ關
スル職務ニ充當ノ結果本職タル公使館附武官ハ被免ノ餘議中ニ付承
知相成度候也



陸軍

13.8.10-1

383

M-0264

0229

外、
初大、
長、
事、
長、
取、

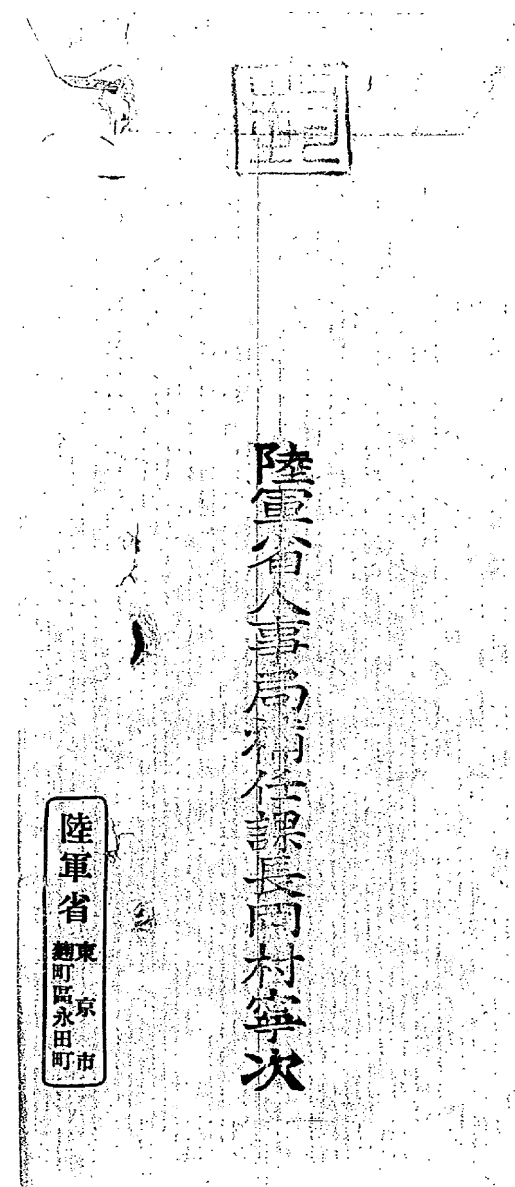
八
往
九
五
五

M-0264

0230

M-0264

0231



文書課長 亞細亞局長

文書課發送 昭和七年貳月拾五日發送

主 任 人事課長 爲

機密 第一 九

受信 杜 中華民 國 重光 公使 宛

件名 中華民 國駐 日 公使 館 財政 部 代理 人 函 件

名 込 綴

發信 人名 芳澤 外務 大臣

附屬書 通

中華民 國駐 日 公使 館 財政 部 代理 人 函 件

田代 院 一 郎 一 介 殿

本職 免 署 長 之 職 務 其 後 任 署 長 陸 軍 少 將

兵 中 佐 原 田 健 吉 一 同 武 官 一 職 務 代 理 人 命 署 長 一 人

公 信 案

外 務 省

13 52

12/2

13.8.1.0-1 385

文書課長 亞細亞局長

文書課發送 昭和七年貳月拾五日發送

主 任 人事課長 爲

機密 第一 三

受信 杜 中華民 國 重光 公使 宛

件名 中華民 國駐 日 公使 館 財政 部 代理 人 函 件

名 込 綴

發信 人名 芳澤 外務 大臣

附屬書 通

中華民 國駐 日 公使 館 財政 部 代理 人 函 件

田代 院 一 郎 一 介 殿

本職 免 署 長 之 職 務 其 後 任 署 長 陸 軍 少 將

兵 中 佐 原 田 健 吉 一 同 武 官 一 職 務 代 理 人 命 署 長 一 人

公 信 案

外 務 省

13 53

13.8.1.0-1 384

M-0264

0232

電送第 3601 號

昭和7年2月16日 午後2時0分發

電信案

外務省

お次平へ轉發アリマス

セウル

十三日附發附武友田代少將 在職ヲ免

平 附 送

第八四號

宛

重光公使宛

發

芳沢大臣

件

在中華民国、帝室、公使、武友田代少將、在職ヲ免

名込綴

主管

人事課長

主任

知

(起草昭和七年二月十日)

(原議用紙甲)

電信課長

電信案

8 13.8.1.0-1 387

公 信 案

外 務 省

本信回送甘々

在中華民国、帝室、公使、武友田代少將、在職ヲ免

在中華民国、帝室、公使、武友田代少將、在職ヲ免

8 13.8.1.0-1 386

M-0264

0233

文書課 發 送

昭和七年六月八日 發送書 淨書 正校(原稿) (淨書)

人事課長 任主 島 (起草 昭和七年六月七日)

普通第一 四四 號 大正 昭和七年六月七日 附 附屬書 通

受 信 人 名 荒木陸軍大臣宛

件 名 中華民國駐劄刺事公使館 附武友補任一件

本件云々本月四日附人往第五二號ヲ以テ申越

趣了 承取ハ当商ヲ於テ異存無之矣

田代少

公 信 案

外 務 省

13.8.1.0 - 1 389

7.107

人事課

人往第五二號

公使館附武官命課ノ件照會

昭和七年六月四日 陸軍大臣 荒 木 貞

外務大臣 子爵 齋 藤 實 殿

左記ノ通り命課ノ詮議中ニ候處異存無之候哉及御照會候也

左 記

陸軍少將 田代 皖一 郎

補中華民國在勤帝國公使館附武官

陸 軍

13.8.1.0 - 1 388

昭和七年六月六日 田代

昭和七年六月廿八日

第一課

第二課

第三課

第四課

參事第二十四號

人事課

天

昭和七年六月廿九日

在野村公使館附武官代理服務ノ件通牒

中華民國在勤帝國公使館附武官代理服務ノ件通牒

昭和七年六月廿八日 參謀本部總務部長 梅津 美

外務省亞細亞局長 谷 正 之 殿

今般中華民國在勤帝國公使館附武官ニ補セラレタル田代少將ハ目下歸朝中ニ付上海着任迄ハ同武官ノ業務ハ參謀本部附歩兵大佐ニ一ラシテ代理服務セシメラルルニ付通牒ス

陸軍

13.8.1.0 - 1 390

M-0264

0235

外務大臣官房御中

外務省第二回館一

M-0264

0236

編
參
謀
本
部

M-0264

0237

(分類M2.1.0.12)

電送第 13871 號

昭和8年8月2日 時30分發

電信課長	件	祝電、件	主	主任	(起章) 昭和八年八月二日	(原議用紙甲) 國
	宛	在上海總領事館交付 田代少將宛	主			
平	第	1	號	發	重光次官	
御宗轉り祝ス						

8 13.8.1.0-1 392

13

電信課長	件	祝電、件	主	主任	(起章) 昭和七年七月二日	(原議用紙甲) 國
	宛	在上海總領事館交付 田代少將宛	主			
平	第	三八	號	發	重光次官	
御宗轉り祝ス						

8 13.8.1.0-1 391

M-0264

0238

人事課

海軍入部二三一號

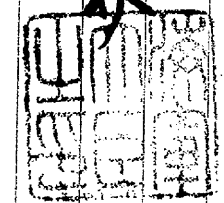
名

昭和七年八月廿四日接受

昭和七年八月二十三日

海軍大臣岡田啓介

外務大臣伯耆内田康哉殿



中華民國在勤帝國公使館附武官輔佐官

更迭ニ関スル件照會

職務上、都合有之候條首題、件左記
交代方取計度候處貴省ニ於テ御差支、
有無至急承知致度

記

免 海軍中佐 酒井 武雄

命 海軍少佐 藤原 喜代間

海 電

[illegible]

13.2.10 - 1

395

M-0264

0240

文書課發送 文書課長 公 信 案		主 管 人事課長 主任 （起草）昭和七年八月二十五日 （校）（原稿） （淨書） （甲號用紙）	
機密 第二〇四號 大正 年 八月 月 廿五日 附屬書 通		人名 岡田海軍大臣 內田外務大臣	
件名 中華民國駐日勤王公使館 附武友輔佐及更迭一件		人名 名 込 綴	
存 在 之 此 紙 一 回 終 局 久		以下市昭會一趣了承右ハ高商ニ於テ異	
本件之案之於本月二十三日附海秘人頭二三一號		酒井中佐宛 藤本武夫宛	

13.8.10 - 1

394

電 信 案	電送第		主 管 號		電 信 課 長
	番 略 昭 平 月 日 前 後	時 宛	分 發	任 主	
	件		宛		
	第		號		
	記 録 件 名		發		
外 務 省	昭和七年八月廿五日		月廿五日		

⑤ 10.3.13-1 2.15

昭和七年八月廿五日 發
 昭和七年八月廿四日
 中華文藝會勸業山後
 夫人謹白及了冬人信
 西村 / 三三
 25 38

⑤ 10.3.13-1 2.15

M-0264

0241

寫
送
先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次
官
大臣

電信課長

分類 M2.10.12

第一一三四號

内田外務大臣

昭和7 一八八八七 暗

上海 本省

八月廿六日後着

亞

矢野代理公使

當館陸軍武官ヨリ補佐官ノ増員（上海二名ニ増員）及更迭ノ旨申越
アリ右増員ニ付テハ外務省ノ同意ヲ得タル趣ナル處右ハ南京側ニ通
知シテ然可キヤ爲念御同示ヲ請フ

外
務
省

S 13.2.1.0 - 1

397

電
信
案

外
務
省

北平へ特電アリタシ

（原簿用紙乙）

3.2

S 13.2.1.0 - 1

396

M-0264

0242

人事課

機密公第九七六號

昭和七年九月十九日

在廣東

總領事代理 吉田 丹一 郎

外務大臣伯爵 內田 康 哉 殿

昭和七年九月十七日附 機密公第二四 號

有吉公使 宛公信寫送附

件 名

一、駐在武官ノ姓名履歷等通知方ニ關スル件

以上

在廣東日本總領事館

昭和七年拾月壹日



13.8.10-1 398

機密公第二四號

昭和七年九月十七日

在

廣東 總領事代理 吉田 丹一 郎

在中華民國

公使 有 吉 明 殿

駐在武官ノ姓名履歷等通知方ニ關スル件

本件ニ關シテハ不取敢電報ヲ以テ措置方及請調置キタルカ故ニ市長
來信全文邦譯ノ上別添報告申進ス、委細右ニ就キ御承知相成度

附屬

九月十六日附文字第五六一號市長來信譯文

在廣東日本總領事館

13.8.10-1 399

M-0264

0243

本信寫送附先

外務大臣 南京

在廣東日本總領事館

8 13.2.10 - 1 400

廣州市政府公函文字第五六一號譯文

拜啓陳者今般廣東省政府ヨリ文字第一六九二號ヲ以テ「南京參謀本部第二廳ヨリ二字第三十號公文ヲ以テ」各關ノ中關駐在陸海空軍武官ノ姓名履歷及其同伴家族ノ情況ニ關シ本部ハ速ニ之ヲ詳細調査ノ上待遇及交際事項ヲ規定スルニ費シ度キニ付關係官憲ニ轉飭調査ノ上報告スヘキ旨ノ參謀總長ノ訓令ニ接シタルニ付テハ貴省政府所管内ニ於ケル各關公使館領事館附武官ノ姓名履歷及其同伴家族ノ情況ヲ詳細調査ノ上本部宛報告相成度々尙今後變更ノ都度ハ隨時之ヲ調査通報セラルベキ旨申越セル處右ハ當然之ヲ辦理スヘキ筋合ナルヲ以テ已ニ汕頭市政府ニ對シ是カ査報方命シ置キタルカ貴市長ニ於テ直ニ査報方取計ハレ度シトノ訓令ニ接シ候就テハ右ニ御承知

在廣東日本總領事館

8 13.2.10 - 1 401

M2.1.0.12

人事課
機密公第 九八三號

昭和七年九月廿四日

在 廣東
總領事代理 吉 田 丹 一

外務大臣伯爵 內 田 康 哉 殿

昭和七年九月廿一日附 機密公第 二 五 號

中華民國全權公使宛公信寫送附

件 名

一 駐在武官ノ姓名履歷等通知方ニ關スル件

以 上

在廣東日本總領事館

昭和七年拾月四日 別紙添付 接受

在外公館附屬人員之關係

廣東省長 陳炯明 鑒

廣東省長 陳炯明 鑒

6 13.8.1.0 - 1 403

ノ上駐在武官ノ姓名履歷及其同伴家族ノ情況ヲ詳細列記御回答相成
度此ノ致照會旁々得貴意候

昭和七年九月十六日

代理市長 劉 紀 文

在廣東日本總領事代理

吉 田 丹 一 郎 殿

在廣東日本總領事館

6 13.8.1.0 - 1 402

M-0264

0245

機密公第二五號

昭和七年九月廿一日

在 廣 東

總領事代理 吉 田 丹 一 電

在 中 華 民 國

特命全權公使 有 吉 明 殿

駐在武官ノ姓名、履歷等通知方ニ關スル件

九月中旬拙電及同十七日附機密公第二四號拙電ニ關シ

船方申出通り取計ヒ方差支無キ旨御返電アリタルニ付テハ九月廿一日市長宛別紙寫ノ通り回答シ置キタルニ付御答閱相成度此ノ段報告申進ス

在廣東日本總領事館

8 13.8.10 - 1 404

別紙。 九月廿一日附代理市長劉紀文宛日領第九五號寫

本信寫送附先

外務大臣 南京

在廣東日本總領事館

8 13.8.10 - 1 405

M-0264

0245

日領第九五號

昭和七年九月廿一日

在 廣 東
總領事代理 吉 田 丹 一 謹

廣州市長代理 劉 紀 文 殿

拜啓陳者九月十六日附交字第五六一號貴信ヲ以テ當地ニ駐在スル武
官ノ姓名、履歷及其同伴家族ノ情況等ニ關シ通知方御申越相成正ニ
關悉致候。然ルニ目下當地駐在ノ敎團武官ハ左記ノ通りナルニ付右
ニ御承知相成度此ノ段回答旁々得費意候。 敬具

記

在廣東日本總領事館

6 13.2.1.0-1 406

一 姓名

二階堂泰治郎

一 階級

陸軍歩兵中佐

一 家族

家族ヲ同伴ナス

以上

在廣東日本總領事館

6 13.2.1.0-1 407

M-0264

0247

海軍大臣
岡田啓介
米國在勤帝國大使館附武官

海祕人第二八四號

昭和七年十一月七日

外務大臣伯爵内田康哉殿

海軍大臣 岡田啓介

大公使館附武官並同輔佐官更迭ニ關スル件照會
配員上ノ都合ニ依リ首題ノ件左記ノ通取計ヒ度候處貴省ニ於テ御差
支ノ有無至急承知致度

米國在勤帝國大使館附武官

免 海軍大佐 下村 正助

命 海軍大佐 小林 仁

中華民國在勤帝國公使館附武官

免 海軍大佐 北岡 春雄

命 海軍大佐 佐藤 脩

外務省

8 13.2.1.0 - 1 408

米國在勤帝國大使館附武官輔佐官

免 海軍大尉 佐々木 彰

命 海軍大尉 金元 好廣

(終)

外務省

8 13.2.1.0 - 1 409

M-0264

0248

電 信 案	北平へ特電 P752	補せし北園大佐 本職免せし	一日附海軍大佐佐藤修 貴殿附武友に	第 四 八 号	電送第 22096	號	管主 人事課長
					昭和7年12月2日午後5時0分	宛 在上海 有吉公使	任主 局
外 務 省					中華民政府駐日大使館附 武友更迭ノ件	名 件 録 記	昭和七年十二月二日 内田大臣

S 13.8.10-1 411

外 務 省	人機密第二七七號	昭 和 年 月 日
	岡田海軍大臣	内田外務大臣
	在外帝國大使館附武官並附武官輔佐官更迭ノ件 本月七日附海祕人第二八四號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ當省ニ於テ 異存無之此段回答ス	

S 13.8.10-1 410

M-0264

0249